2/26 西日本

# 〝戦争NO平和を〟コール

## ロ大統領の核兵器威嚇発言
## 国際反核団体が非難

国際的な反核団体「核兵器廃絶国際キャンペーン」（ICAN）は24日、ロシアのウクライナ侵攻を非難する声明を発表しました。プーチン大統領が核兵器を使用すると威嚇したことを「強く非難」。プーチン氏が「ロシアに介入しようとする者たちに、ロシアは即時に対応し、歴史上かつてないほどの帰結をもたらすだろう」と述べたことは「核兵器禁止条約によって禁止された、核兵器を使用するとの威嚇に等しい行為」だと批判しています。

プーチン氏の言動から「核兵器の使用が常に選択肢に入っているのは明らかで、核兵器使用の危険は高まっている」と警告。ロシアとベラルーシをはじめすべての国々に対し、「核兵器がかかわるいかなる軍事行動も行わないよう求め」ています。

英国の平和団体、核軍縮運動（CND）は24日、紛争によってウクライナが経済的、人的な犠牲を払っているとしつつ、「この紛争は、米国・ロシア間の核戦争という人類の生存にかかわる脅威をもたらしている」と警告する声明を発表しました。

米ロだけで、広島型原爆の3000倍の核兵器を保有しており「核戦争の可能性はここ数十年で最大となっている」と指摘。すべての政府に対し、「当事者を交渉に着かせ、ロシア軍の撤退を保障し、ミンスク合意を機能させる」とともに、北大西洋条約機構（NATO）の拡大の中止を呼びかけています。

## 「一日も早い撤退を」
### 東京・渋谷ハチ公前で抗議

ロシアのウクライナ侵略に対し、東京・渋谷ハチ公前で24日、日本に住むウクライナ人など約100人がスタンディングを行い、「プーチン帰れ」「ウクライナに平和を」とコールしました。周辺には、ウクライナ国旗を身にまとった人の姿も。プラカードには、「STOP WAR」「GET OUT PUTIN」などの言葉が並びます。

ウクライナ人のコンスタンティン・セツエンコさん（30）は「家族が心配で今すぐにでも帰りたいが、それもできない。悪いのはプーチン。『戦争するな』と抗議の声を上げるロシア人もたくさんいる」と述べ、ロシア軍の一日も早い撤退のために世界の人と力をあわせたいと話しました。

東京都新宿区に住む男性（37）は「煙が上がるなか、子どもたちが逃げる映像を見ていてもたってもいられなかった」と仕事の途中に駆け付けました。

「ウクライナに平和を」と声を上げる人たち＝24日、東京都渋谷区

「私は日本人です。平和のためにすべて国の人と一緒に声を上げていきたい」

## 各団体が抗議声明

### 広島被爆者7団体

広島被爆者7団体は25日、ロシアのウクライナ侵攻に抗議する連名の声明を発表し、ロシア大使館に送付しました。

「いかなる武力介入、口実も許されるものではない」と批判。プーチン大統領が大陸間弾道ミサイルなどで戦略核兵器使用の準備をし、核兵器の使用を示唆する事実上の威嚇を行ったことは、核兵器禁止条約が禁止した「核兵器による威嚇」で、明らかに国際法違反だとのべ、「怒りを持って強く抗議する」としています。

ただちにウクライナから撤退し、核兵器の配備を含むすべての軍事行動をやめるよう求めるとともに、人道に立ち返って、国際社会と平和的解決を目指す努力を冷静に続けるよう要請。核軍縮、核廃絶を求める国際世論に耳を傾けるよう訴えています。

### 国際ペン

日本ペンクラブ（桐野夏生会長）は25日、ロシアのウクライナ侵攻を受け、国際ペン（本部ロンドン）が各国のペンセンターと連名で作成した声明「悪化する情勢に平和的解決を促す」を発表しました。

声明では「国際ペン憲章に沿った平和的対話と表現の自由の完全な尊重」を通じ、ウクライナの人々の人権を重視した問題解決が図られるべきだと強調。高度な情報戦などでウクライナ国民が人権侵害を受けている実態を指摘し、「暴力をあおっているプロパガンダの使用をやめるよう呼び掛ける」としています。

### シベリア抑留者支援・記録センター

シベリア抑留者支援・記録センターは25日、有光健代表世話人の緊急声明で、今回のロシア軍のウクライナ侵略はかつての「関東軍」による策動と過ちに酷似して見えると指摘。「破壊が行われ、死者・負傷者が出ること、そして捕虜が出ることも、遺族や遺骨が生まれることもたえられないこと。人の道に反すること」として、軍事侵攻の即時中止と平和的交渉を求めています。